

令和5年11月4日

売木村「困りごと調査」の アンケート集計結果報告

愛知大学地域政策学部
岩崎ゼミ3年

1 アンケート調査の目的と方法

(1) 目的

村民がいま何に困っており、近い将来その困りごとがどうなると感じているかのかを知り、具体的な取り組みに活かす。

(2) 方法

アンケート票を地区ごとに戸別配布・回収(7月1日～2日)

(※)令和4年度に旭・中央地区で既に調査を実施(報告済)。今年度は残り5地区でも同じ調査を行った。

(3) アンケートの質問項目

以下、**15項目の「いま」と「5年後」の困りごとの困り度**を聞いた。

墓地の管理/買物/食事の準備/気軽に話し合う相手/
車の運転/家族の介護/医療機関への通院/働く場/
家の管理/農地の管理/山林の管理/地区(組)の活動への
参加/災害時の避難/デジタル機器の扱い

5段階評価(全く困っていない(-2点)/余り困っていない(-1点)/
何とも言えない(0点)/少し困っている(1点)/とても困っている(2
点)で○を付してもらった。

(参考)地区ごとの困り度の点数と「いま」と「5年後」の乖離度

岩倉地区	いま	5年後	乖離度	
基地の管理		-1.33	0	1.33
買物		-1.39	-0.22	1.17
食事の準備		-1.33	-0.44	0.89
話し相手		-1.22	-0.11	1.11
車の運転		-1.47	-0.24	1.23
家族の介護		-1.13	-0.35	0.78
通勤		-1.75	-1.15	0.6
通院		-1.12	-0.06	1.06
働く場		-1.07	-0.36	0.71
家の管理		-0.72	-0.33	0.39
農地の管理		-0.06	0.82	0.88
山林の管理		0	0.92	0.92
活動参加		-0.78	0.44	1.22
災害時の避難		-0.83	0.06	0.89
ICT機器		-0.38	0.06	0.44

軒川地区	いま	5年後	乖離度	
基地の管理		-1.43	-0.77	0.66
買物		-1.13	-0.59	0.54
食事の準備		-1.57	-1.23	0.34
話し相手		-1.7	-1.36	0.34
車の運転		-1.87	-1.45	0.42
家族の介護		-1.68	-0.91	0.77
通勤		-1.67	-1.67	0
通院		-0.91	-0.48	0.43
働く場		-1.3	-1.2	0.1
家の管理		-1.59	-1	0.59
農地の管理		-1.1	-0.55	0.55
山林の管理		-1	-0.5	0.5
活動参加		-1.45	-0.59	0.86
災害時の避難		-1.13	-0.5	0.63
ICT機器		-0.68	-0.55	0.13

長下地区	いま	5年後	乖離度	
基地の管理		-1.71	-1.23	0.48
買物		-1.57	-1.43	0.14
食事の準備		-1.79	-1.5	0.29
話し相手		-1.93	-1.93	0
車の運転		-1.77	-1.31	0.46
家族の介護		-1.93	-1.57	0.36
通勤		-1.93	-1.79	0.14
通院		-1.93	-1.57	0.36
働く場		-1.79	-1.57	0.22
家の管理		-1.86	-1.29	0.57
農地の管理		-1.7	-1.4	0.3
山林の管理		-1.6	-1.4	0.2
活動参加		-1.64	-1.07	0.57
災害時の避難		-1.64	-1.21	0.4
ICT機器		-1.31	-0.62	0.69

南一地区	いま	5年後	乖離度	
基地の管理		-1.3	0.23	1.53
買物		-0.92	0.58	1.5
食事の準備		-1.38	0.13	1.51
話し相手		-1.25	0.08	1.33
車の運転		-1.61	0.26	1.87
家族の介護		-1.27	0.19	1.46
通勤		-1.58	-0.23	1.35
通院		-1.42	0.33	1.75
働く場		-0.84	0.44	1.28
家の管理		-1.08	0.26	1.34
農地の管理		-0.14	0.91	1.05
山林の管理		-0.44	0.88	1.32
活動参加		-0.65	0.74	1.39
災害時の避難		-0.65	0.7	1.35
ICT機器		-0.09	0.86	0.95

南二地区	いま	5年後	乖離度	
基地の管理		-1.4	-0.53	0.87
買物		-0.94	-0.41	0.53
食事の準備		-1.47	-0.82	0.65
話し相手		-1.59	-1.18	0.41
車の運転		-1.7	-0.75	0.95
家族の介護		-1.53	-0.5	1.03
通勤		-1.45	-0.82	0.63
通院		-1.65	-0.81	0.84
働く場		-1.43	-0.54	0.89
家の管理		-1.2	-0.56	0.64
農地の管理		-1	-0.29	0.71
山林の管理		-0.85	0.25	0.6
活動参加		-1.27	-0.5	0.77
災害時の避難		-1.41	-0.63	0.78
ICT機器		-1.6	-0.86	0.74

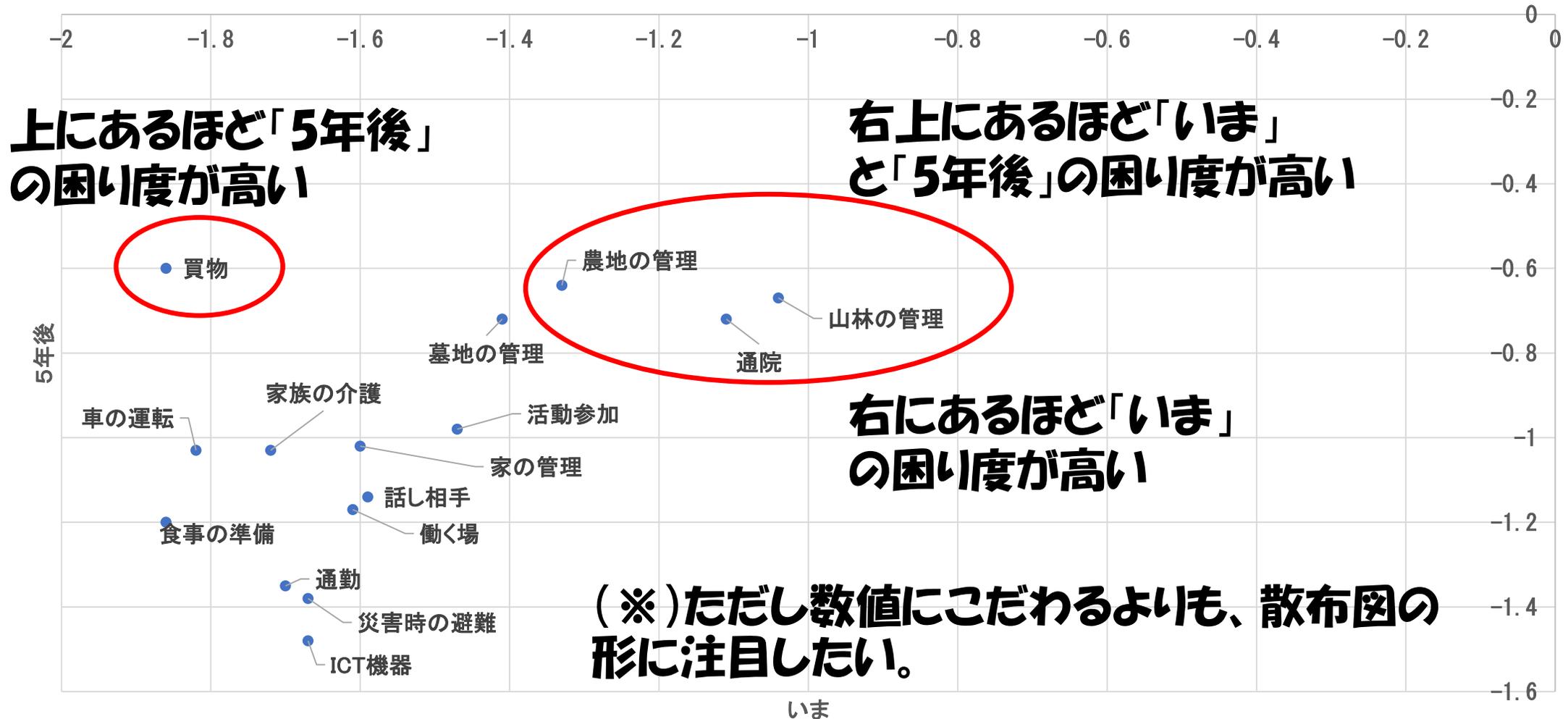
旭・中央地区	いま	5年後	乖離度	
基地の管理		-1.41	-0.72	0.69
買物		-1.66	-0.6	1.26
食事の準備		-1.86	-1.2	0.66
話し相手		-1.59	-1.14	0.45
車の運転		-1.82	-1.03	0.79
家族の介護		-1.72	-1.03	0.69
通勤		-1.7	-1.35	0.35
通院		-1.11	-0.72	0.39
働く場		-1.61	-1.17	0.44
家の管理		-1.6	-1.02	0.96
農地の管理		-1.33	-0.64	0.69
山林の管理		-1.04	-0.67	0.37
活動参加		-1.47	-0.98	0.49
災害時の避難		-1.67	-1.38	0.29
ICT機器		-1.67	-1.48	0.19

(※)地区ごと「いま」と「5年後」の乖離度の最も高い項目を網掛け

(参考) 旭・中央地区でのアンケート調査結果(令和4年度報告済)

困りごとの「いま・5年後」比較(全体) N=64

平均年齢61.3歳

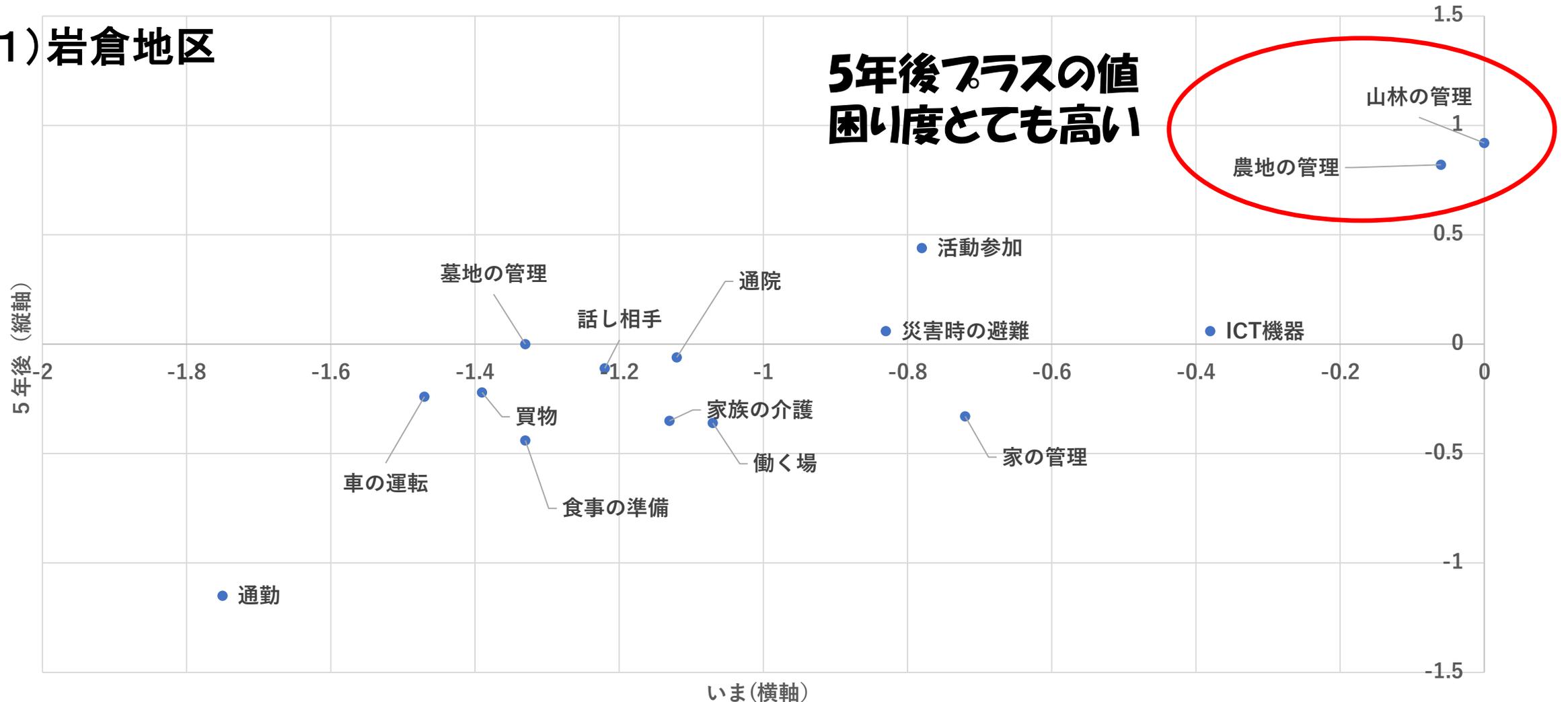


2 アンケート集計結果

(1) 地区別単純集計

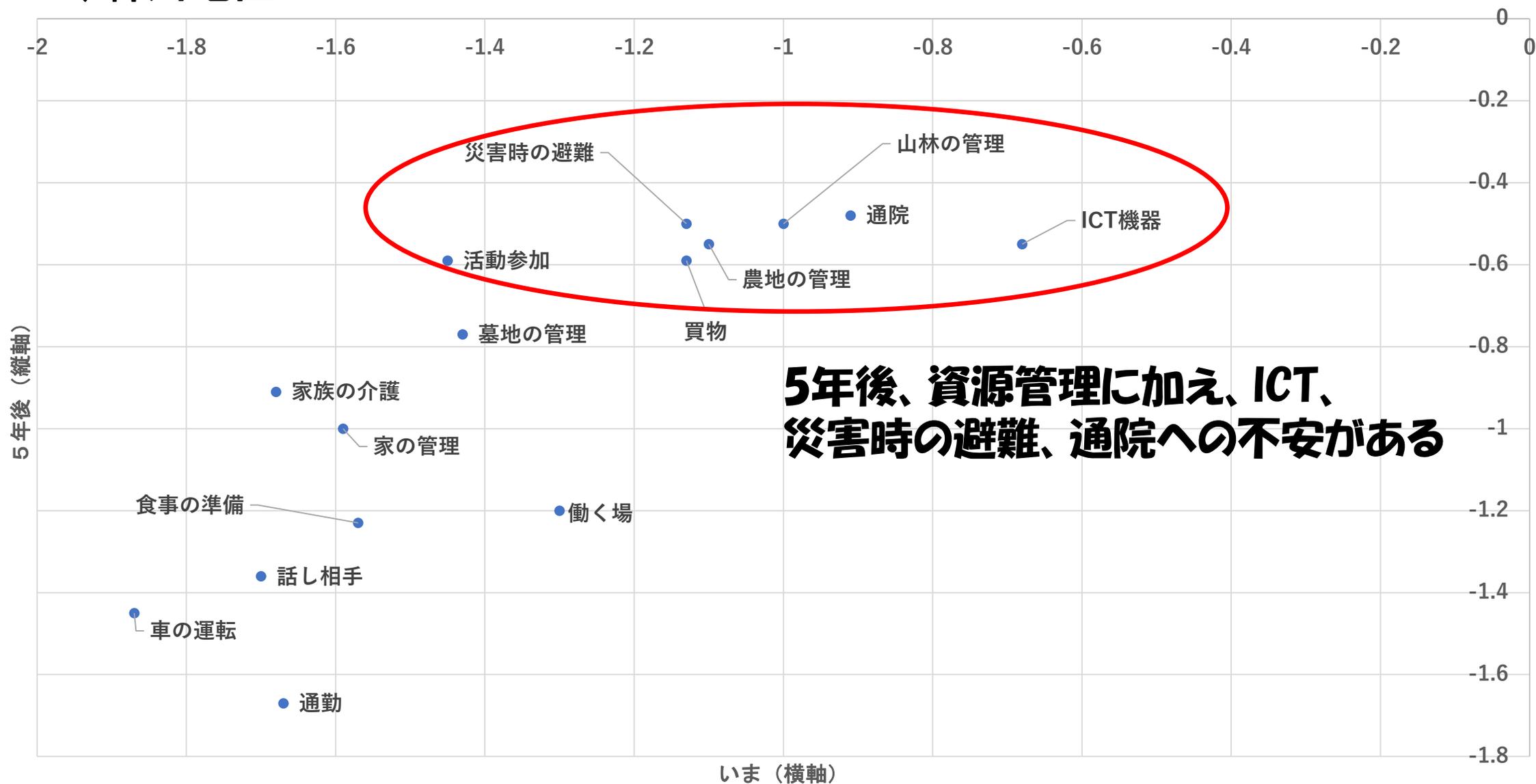
岩倉地区 n = 19 平均年齢71.8歳

1) 岩倉地区



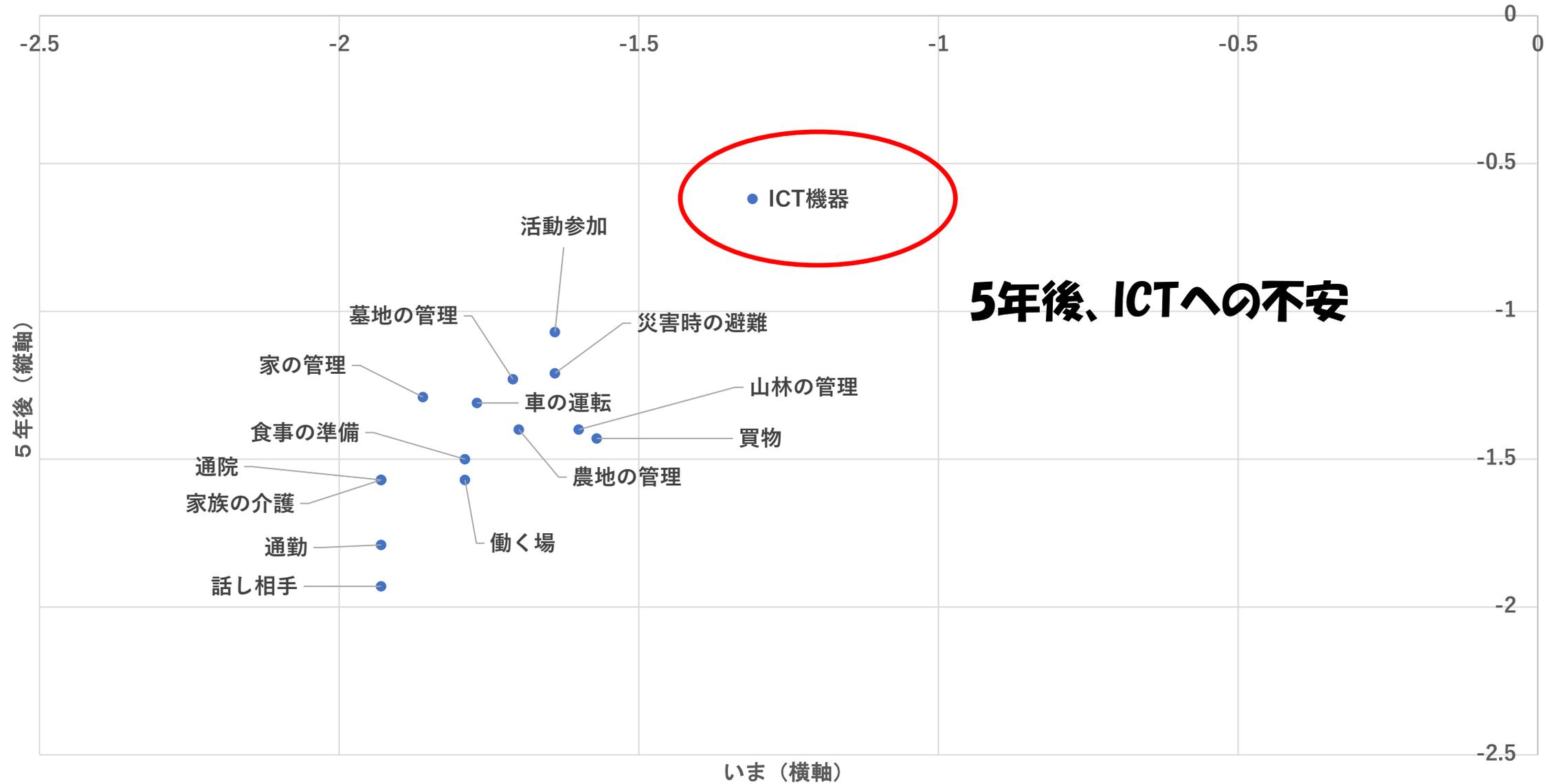
2) 軒川地区

軒川地区 n=23 平均年齢62.4歳



3) 長下地区

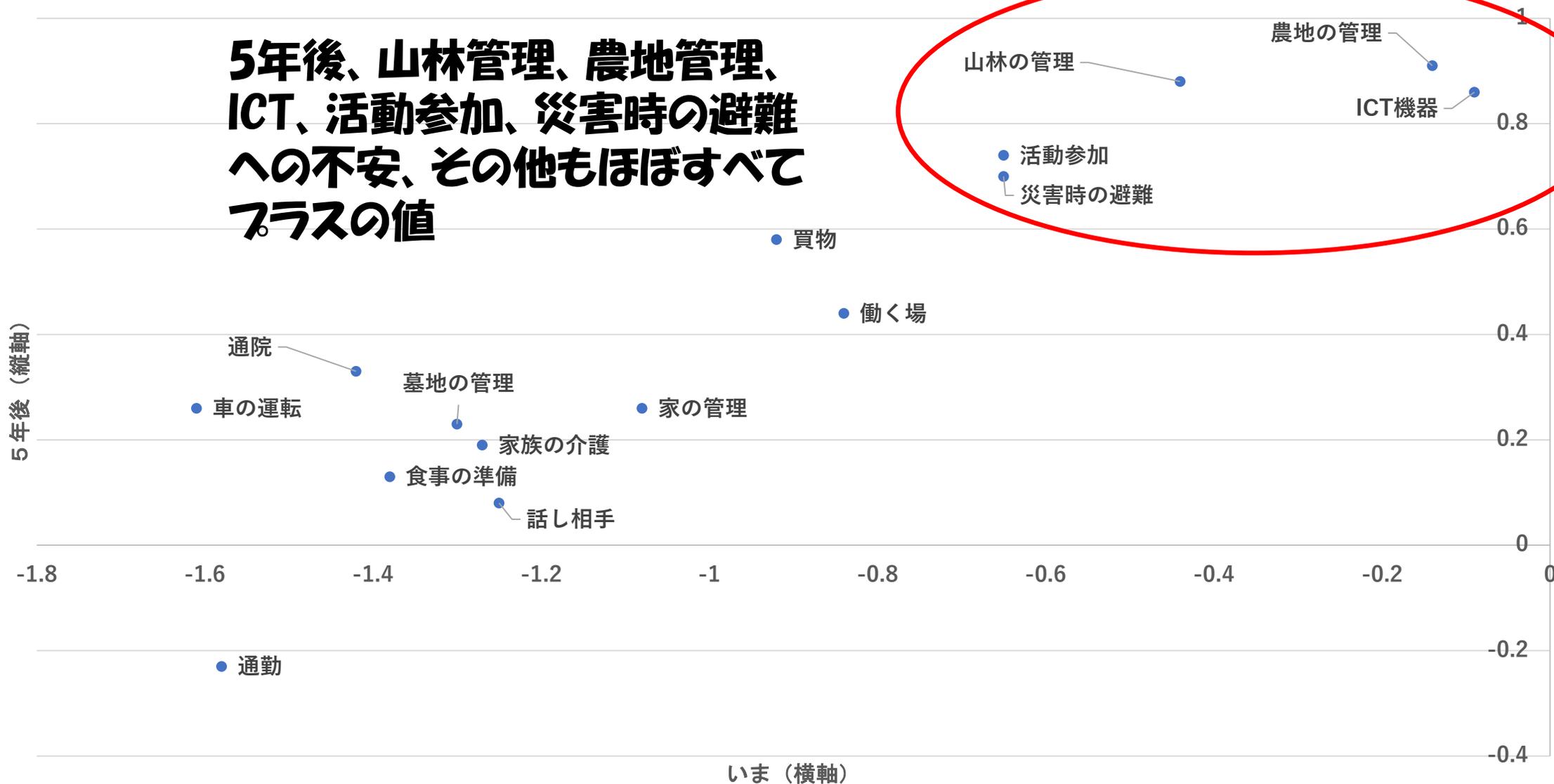
長下地区 n=14 平均年齢70.7歳



4) 南一地区

南一地区 n=24 平均年齢72.2歳

5年後、山林管理、農地管理、ICT、活動参加、災害時の避難への不安、その他もほぼすべてプラスの値



5) 南二地区

南二地区 n=17 平均年齢72.3歳



(2) 村民の声

【農林業】

- ・鳥獣被害(岩倉)
- ・人々が農業をやりたいがるような政策が欲しい(軒川)
- ・農林業の収入少ない(南一)

【景観維持、資源管理】

- ・雑草がよく伸びる(長下)
- ・周辺の農地、山林の管理、周辺の荒廃地まで手が回らない(南一)
- ・耕作地を借りた以上責任をもって草を刈ってほしい(南一)
- ・農地管理(草刈り)(南二)
- ・美化活動に参加しないなら罰金して欲しい(軒川)
- ・地域や村の活動や決まり事を守らない、参加しない世帯に対して働きかけず放置している。周囲がその分負担することになり、迷惑(軒川)

【観光】

- ・観光客が増えて交通量が増加した。スピード出し過ぎの車が多い(長下)

【暮らし】

- ・高齢なため、もしもの不安(南一)
- ・将来の村の存続(人、財政、暮らしなど)(南一)
- ・5年後のことは分からない(岩倉) 三日先が不安(軒川)

(※)高齢化(独居)による暮らしへの不安(全体)

- ・ガソリンが高い(軒川、長下)
- ・水道水がかび臭い(長下)

【ICT】

- ・ドコモが入らない、WiFiがもっと早くなって欲しい(軒川)

【災害時】

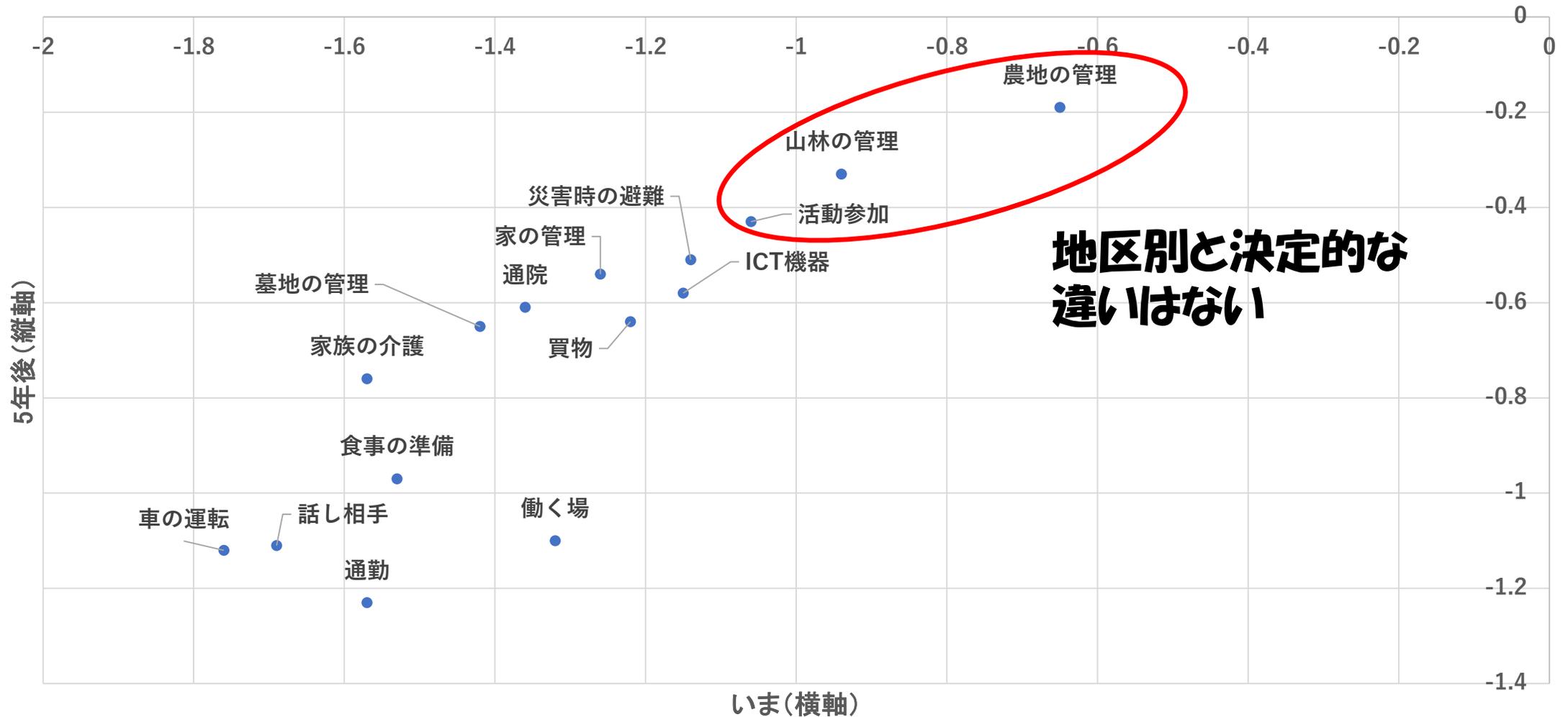
- ・災害時に避難できない人がいる(軒川)

【インフラ整備】

- ・交通網の整備(飯田方面。(南一))
- ・平谷峠のトンネル化(南二)
- ・高齢者に対して施設が足りない(軒川)
- ・新野峠からの入り口に看板を設置してほしい(南一)

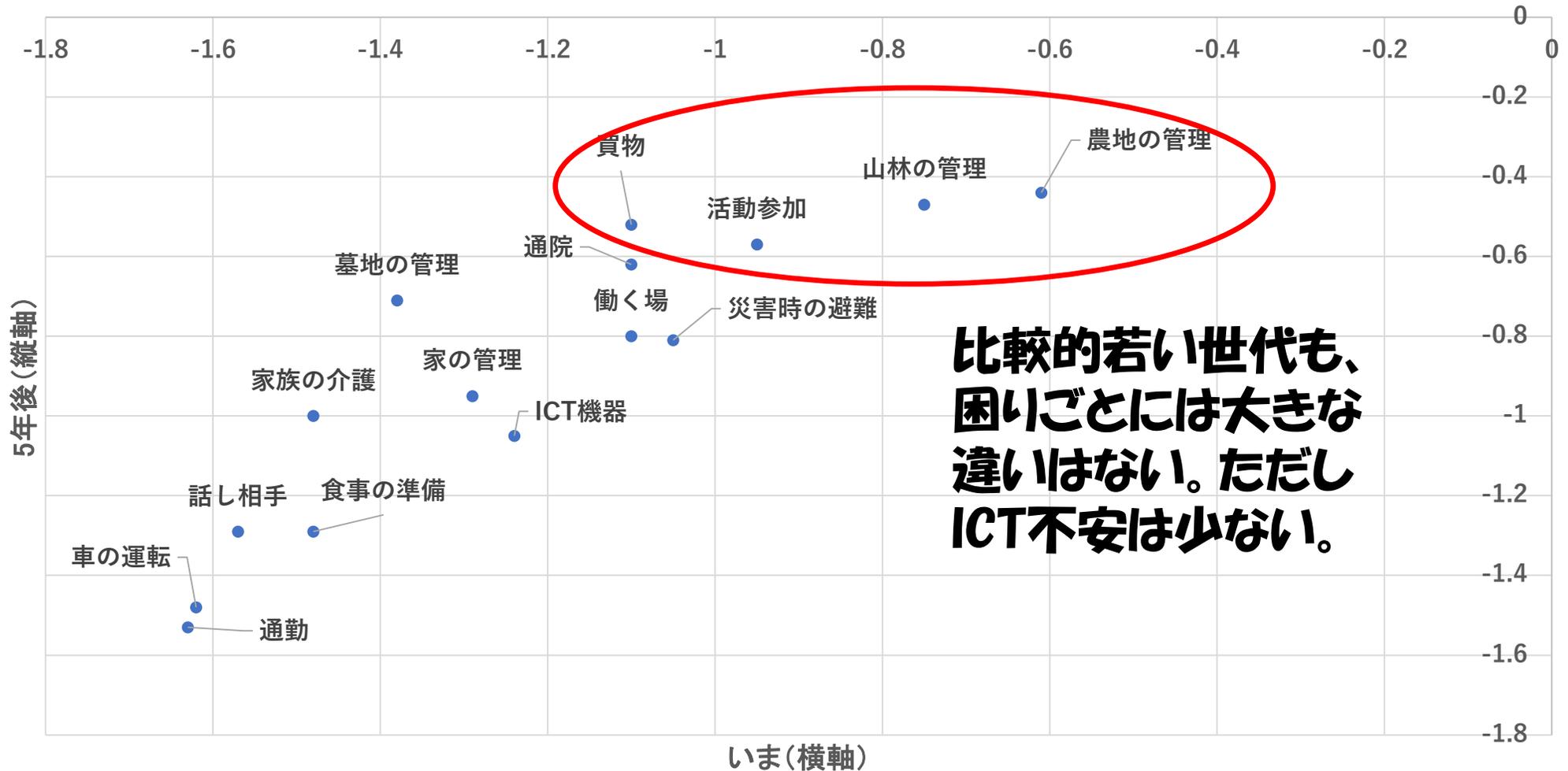
3 クロス集計結果 (1) 移住者(ただし婚姻含む)

移住者(婚姻も含む)(旭・中央除く) n=36 平均年齢64.3歳



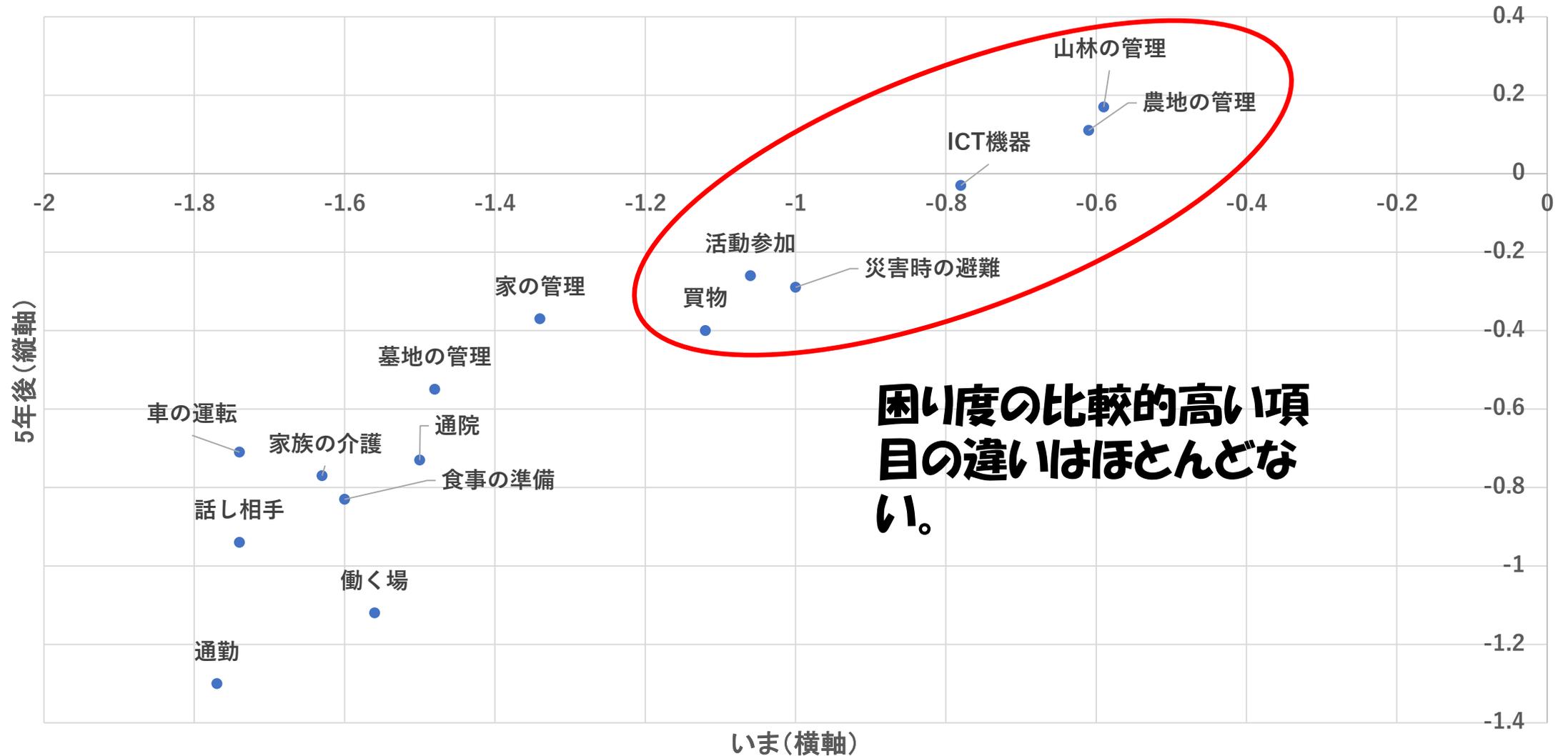
(2) 壮年層(50歳代以下)

50歳代以下(旭・中央除く) n=21 平均年齢48.8歳



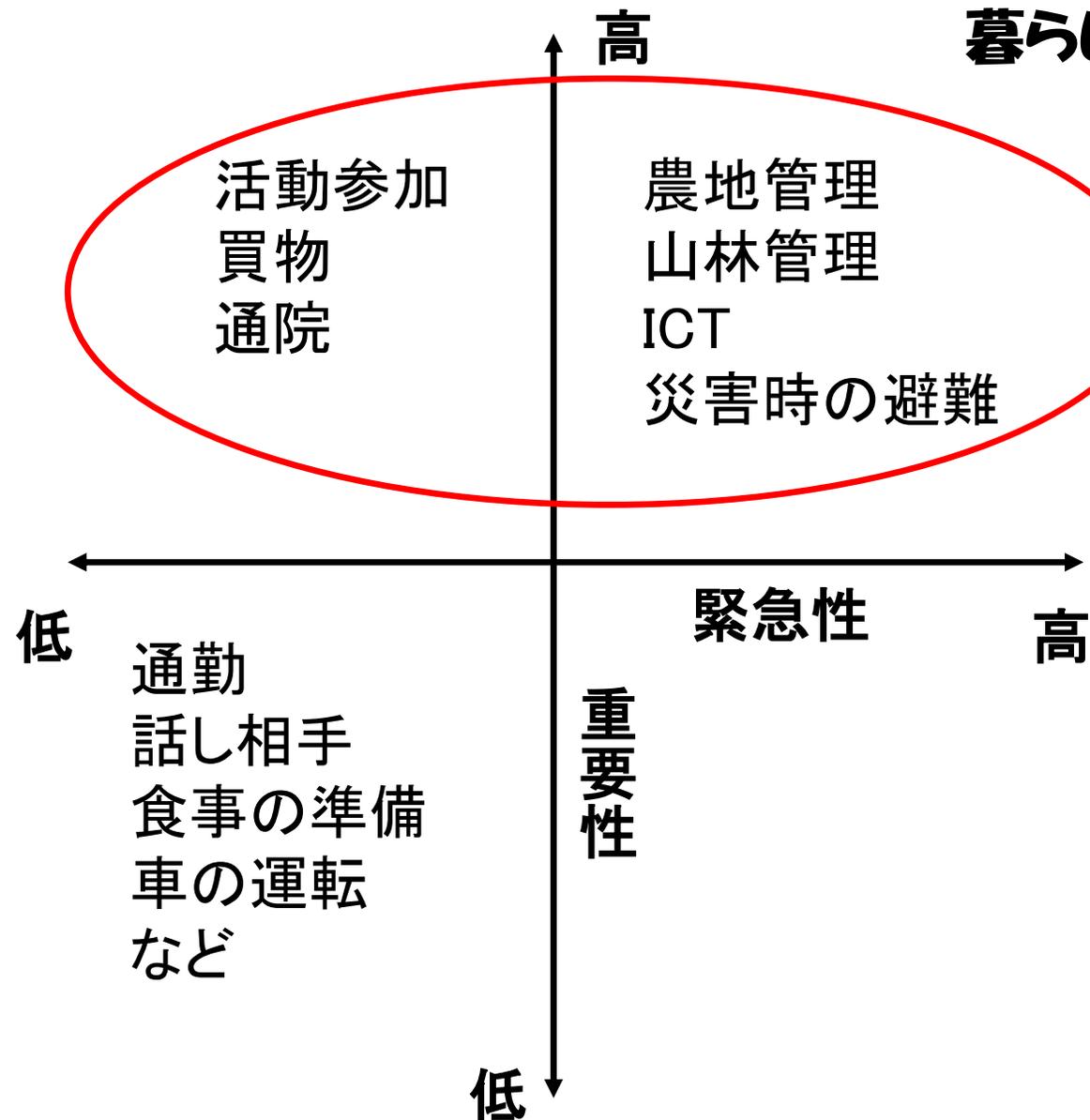
(3) 女性

女性(全体)(旭・中央除く) n=35 平均年齢72.5歳



4 総括－困りごと調査より見えてきたこと－

暮らし一般、村の存続への不安は底流にある！



【第1象限】

- 1) 喫緊の課題は農地管理・山林管理
- 2) 災害時の避難は地区・人によるが、人命に関わるので緊急性は高い
- 3) ICTは人によって大きく異なる。
(旭・中央は低い)

【第2象限】

- 4) 活動参加への不安(活動に参加しない人への不満)は今後増大する
- 5) 買物への不安(旭・中央は5年後非常に高い)、通院への不安(旭・中央)

【第3象限】

- 6) 車の運転は、いまと5年後の乖離度がとても高い(→今後不安が急増)

5 困りごと解消に向けた取り組みについて(意見交換)

(※)資源管理(農地・山林)の仕組み(中山間・棚田保全の補助金活用に加えて)
買物弱者への対応
ICT(スマホ、タブレット)利活用の方策
災害時の避難場所やルートの再確認
活動参加への促し
その他